


—
**序論と結論から
 「全体の流れ」を
 予測しよう!**

まずはスタート地点と
 ゴールを確認だワン!


評論文の構成



問題文
最終段落 結論

ひとを受け身でなくす感覚
 他者に認められる、他者の意識の宛て先に自分
 がなっているという感覚が、ひとを突き動かす一
 つの支えとなっている

ゴール地点は「ひとを受け身ではなくす」(＝能動的
 にする)感覚」について述べられています。スタート
 地点とはどうつながるのでしょうか?

スタート地点
 無責任社会・他人に責任を押しつけがちな現
 代人(問題点)
 ゴール
 人を受け身ではなくす＝能動的にする感覚
 (対策・改善の方向性)

問題点↓対策・改善策という論理展開が見えてく
 るのではないのでしょうか? うまく推測できないと思

論旨が明快な評論文のテーマ・主題は、スタート地
 点とゴールをチェックすることで、ある程度予測でき
 ます。まずは第一段落と最終段落だけを読んでみま
 しょう。

問題文
第一段落 序論

(現代社会では)責任の所在が複雑で見えにく
 く、責任を逸らす言葉も蔓延している。
 人々の苛立ちは飽和状態に達し、だれか特定の
 人への性急な責任追及が生じやすい。


ここから全体のテーマ・主題を予測するとすれば、
 「無責任社会」「他人に責任を押しつけがちな現代人」
 などが考えられます。よくある「現代社会の問題点」
 からスタートしていますね。
 ではゴールはどうなっているのでしょうか。

ったら、スタート地点に戻って、何度も読み返してみ
 ましょう。

まとめ
 評論文を読むときには
 「スタート地点とゴールとの
 つながりを確認する」こと
 から始めよう!



「長い具体例」の範囲を確定しよう！

具体例の前後に意見があるワン！


スタート地点とゴールを確認したうえで、第二段落以降を読んでいきましょう。

問題文 第二段落

そういう空気が支配しているところでは、ひとは、果てしないバッシングや追撃を怖れて、自分が責められないようあらかじめ手を打つことにはやっつきになる……。

です。

第四段落冒頭の「まずは」をチェック。これが「**第一の具体例**」の目印です。その後しばらくは、「第二の」というような目印語がありません。

しかし、第十段落に「そして最後に」とあります。これが「**第三の具体例**」の目印です。ということは、第五段落～第九段落のどこかで「**第二の具体例**」が始まっているということです。

さらに、第十一段落冒頭の「この三つ」に注目。この指示語は「三者三様のひとたち」を指しているのではないのでしょうか。この段落の後半に「右の三者、いずれも進んで責任をとろうとは考えない。」とあるところから見ても、第三段落～第十段落が「責任を逃れよう」とやっつきになる現代人」の実例を示す**長い具体例の範囲**ということになります。

「この」で、**具体例の範囲**をまとめておきましょう。

第三～十一段落

「責任を逃れよう」とやっつきになる現代人」の**具体例**

うつ病と診断されたがる患者（第四～第八段落）

逃げ口上の役人（第九段落）

クレーマーたち（第十段落）

「そういう空気」とは第一段落の「責任の所在が複雑で見えにくいこと、あるいは責任を逸らす言辞の蔓延。そうした状況のなかで、ひとびとの苛立ちが飽和状態にいたる。だれかが責任をとるよりほかなくする」を指しています。

ということは、第二段落は、第一段落の「他人に責任を押しつけがちな現代人」という**問題点**の続きであり、「責任を逃れよう」とやっつきになる現代人」という**問題点**を述べているとわかります。

第一～二段落 問題点

「他人に責任を押しつけがちな現代人」
「責任を逃れよう」とやっつきになる現代人

第三段落「この三者三様のひとたちがいる」に注目しましょう。この「三者三様のひとたち」とは、第一～第二段落に出てきた「他人に責任を押しつけがちな現代人」「責任を逃れよう」とやっつきになる現代人」の**具体例**なのではないでしょうか？

この**具体例**がどこまで続いているか、各段落の冒頭に目を走らせていきましょう。ゆっくりじっくり読むのではなく、あくまで**具体例の範囲を確認**するだけ

まとめ

本文の通し読みをするときに、**具体例の内容をじっくり読まずに、「具体例の範囲」を確定しながら「前後の意見」をチェックするのが速読のコツ！**

